2024年　入社式　誓いの言葉

本日は私たち新入社員のために、このような素晴らしい入社式を催していただき、誠にありがとうございます。皆さまに温かく迎え入れていただき、社会人としての第一歩を東北電力の一員として迎えられたことを嬉しく思うとともに、その責任感に身の引き締まる思いがいたします。

ただいま樋口社長より貴重なお言葉を頂戴しましたことを、新入社員を代表して心より御礼申し上げます。激励のお言葉を胸に刻み、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」の精神のもと、東北・新潟の皆さまに「より、そい」、地域と共に前へ進もうと、決意を新たにしております。

現在、燃料価格の高騰や、電力自由化を受けての競争の激化、カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの普及促進など、電力会社は様々な課題に直面しています。さらに、本年1月1日に発生した能登半島地震では事業基盤である新潟県に甚大な被害が及ぶなど、自然災害の脅威も絶えません。地域の皆様に安定して電力を供給し続けることは決して容易でなく、様々な問題に的確に対応することが求められています。

私はこのような厳しい状況においてこそ、これまでに先輩社員の皆さまが築き上げてきた地域との絆や信頼関係が肝心であると考えます。大学時代、東日本大震災や雪害によって被害を受けた際に、迅速に電力供給の復旧を実現してきた東北電力に対して、地域の方々が信用と感謝を言葉にしていたのを耳にする機会が幾度かあり、東北電力でならば、東北・新潟の人々の暮らしを支えたいという思いを実現することができると確信しました。また、就職活動中、東北電力の先輩社員の方が「私たちは皆、自分たちの仕事に誇りを持って働いている」と仰っていたことが、強く印象に残っています。

社員一人一人が、地域の生活基盤を支える自らの仕事に誇りを持って取り組み、その結果、地域の皆様が「東北電力なら安心だ」と信頼を寄せる、そのような地域と東北電力との関係こそが、東北電力の宝であるのだと考えます。変わり続ける困難な電力業界の現状にあっても、地域と東北電力の結びつきを変わらずに守り続け、さらには一層強固なものにしていけるよう、私たち新入社員も主体的に業務に励んでまいります。

本日、新入社員一同は、東北・新潟の人々の暮らしに貢献したいという志を胸にここに立っております。しかし、まだスタートラインに立ったばかりの私たちは、まだまだ知識や経験の浅い未熟者です。地域の皆様の暮らしに貢献できていると胸を張って言えるよう、これからあらゆることに全身全霊で取り組み、成長してまいりますので、役員の皆さまをはじめ先輩社員の皆さまには、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、私たち新入社員は本日胸に刻んだ決意と、周囲の皆様への感謝の思いを忘れずに、職務に邁進してまいります。東北・新潟の発展とさらなる成長のため、何事にも誠実に取り組み努力し続けることをお誓いし、新入社員代表の挨拶とさせていただきます。

2024年4月1日　新入社員代表　真田愛里